



高輪だより

令和6年度11月号

港区立高輪幼稚園

園長 佐藤 幸子

わくわく ぼかぼか
みんなえがおの
たかなわようちえん

取り組みの過程を大切に

園長 佐藤幸子

先日は、高輪台小学校の体育館で運動会を行いました。幼稚園には運動会をはじめ、様々な行事があります。園では、行事に向かって取り組む中で子どもたちがどのような経験をするのかという過程を大切にしています。

うさぎ組の子どもたちにとっては、いつもと違う環境の中でたくさんの方がいて、初めての運動会でした。うさぎ組はこれまで、園庭やみんなの部屋で何か始めると、楽しみにのぞいて見ていました。幼稚園が安心できる場となり「何だろう。面白そうだな」と興味・関心が広がっています。そして、遊びの中で一緒に踊ったり、玉入れをしたりして楽しむことができました。「自分もやりたい」「やってみたら楽しかった」という経験の積み重ねを大切にしました。

うめ組は、ある日、忍者からの贈り物が届き、興味津々で見ると、そこには忍者の修行が示されて、様々な修行を楽しむことができました。子どもたちは、踊りが大好きで自分たちでCDをかけて繰り返し踊っていました。忍者のイメージの世界を楽しみながら、運動会への期待も高まってきました。

すみれ組は、自分たちで運動会を進めようという気持ちで、係の仕事や司会などにも取り組みました。すみれ組の旗の踊りは、子どもたちが考えを出し合って作り上げました。子どもたちにとって、自分の考えが取り入れられるということは大きな喜びです。また、自分たちの踊りを動画で振り返り、どうしたらかっこよくなるか考え合うことで踊りが変わっていきました。こうした毎日の積み重ねで、子どもたちの気持ちが高まり、仲間と一つになっていきました。白熱したリレーでは、各自が力を発揮して走り転んでもすぐに立ち上がりバトンを繋ぐ姿もありました。勝つために走り方や走る順番などを考え合い、当日を迎えました。

1学期の、タグラグビーでは、難しそうだと思うと、尻込みしてしまったり、タグを取られて悔しくて遊びが続かなくなったりする姿もありました。そんな経験を積み重ねて、悔しくてもあきらめない気持ちや競い合うおもしろさを感じるようになりました。

運動会当日は保護者の皆様も一緒に楽しんでいただき、子どもたちに励ましと応援をいただきありがとうございました。お陰様で、子どもたち一人ひとりが輝く運動会となりました。ここでの経験を今後の生活につなげていきます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



幼稚園のみんなで一つに



みんなで考え合うすみれ組



みんなで踊るの楽しいね